

こども園整備と 既存市立幼稚園・ 保育所の再編計画 第3期計画（素案）

令和元年度 第3回 子ども・子育て会議 資料
令和元(2019)年9月25日 こども部 こども政策課

こども園整備と再編計画 第3期計画

1. 再編計画の概要
2. こども園の整備
3. 幼稚園の再編
4. 保育所の再編
5. 計画における効果

1. 再編計画の概要

○第3期計画の計画期間

こども園構想

平成15（2003）年度

第1期計画

平成22（2010）年度～平成25（2013）年度

第2期計画

平成26（2014）年度～令和元（2019）年度

第3期計画


令和2（2020）年度～令和7（2025）年度

習志野市基本構想に基づく「後期基本計画」や、
「公共施設再生計画（第2期）」と同様の6年間

1. 再編計画の概要

○再編計画の目的

市立幼稚園・保育所

- 
- 【課題】
- ・幼稚園児数の減少
 - ・保育需要の増大
 - ・施設の老朽化 など

市立こども園の整備（再編）

民間活力の導入（私立化など）

計画的な整備を実施

1. 再編の概要

○こども園整備の基本的な考え方

こども園構想

平成15（2003）年策定

【課題】

- 幼稚園児数の減少
- 保育需要の増大
- 子育て世帯の
孤立化（虐待等）
など

こども園

保育所機能

幼稚園機能

子育て支援
拠点機能

就労世帯等

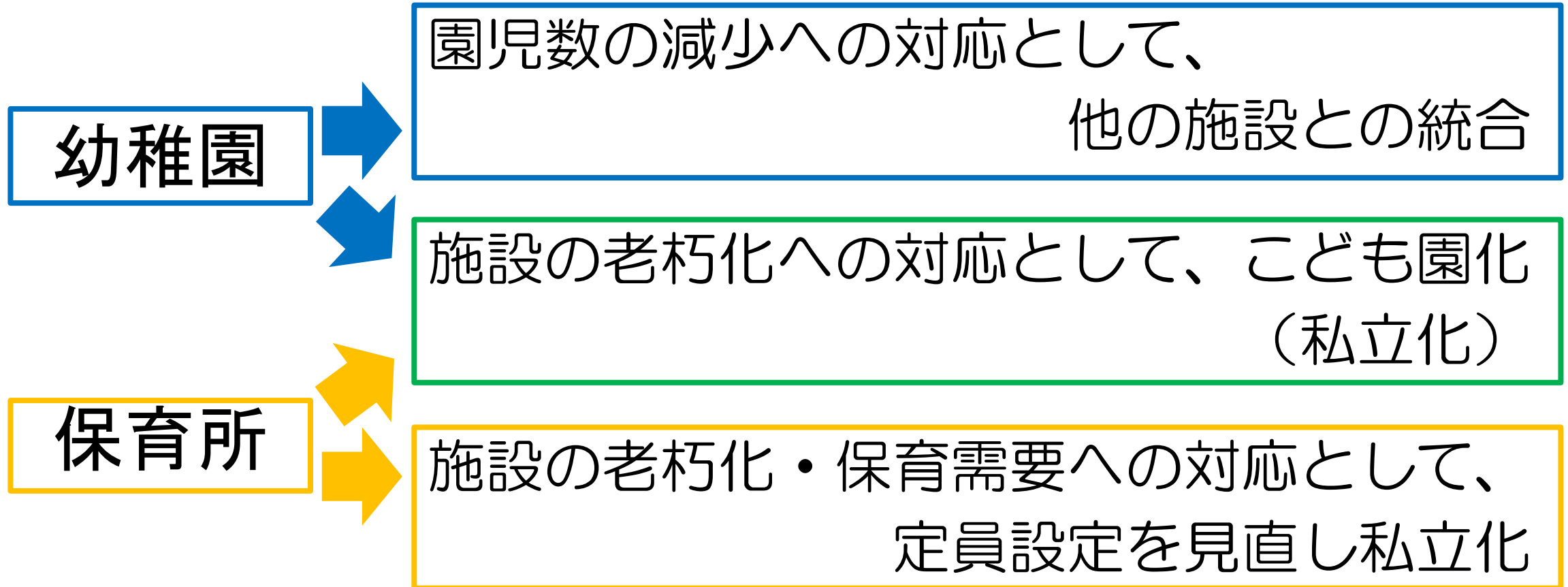
在宅世帯等

保護者が働いている、いないに関わらず、
地域の全ての子ども達が通える就学前施設

中学校区を単位に
7つ整備

1. 再編の概要

○施設再編の基本的な考え方



1. 再編の概要

○これまでのこども園整備と施設の再編

市立幼稚園 15園、保育所 14所

こども園構想

こども園を整備 1か所

第1期計画

こども園を整備 2か所

保育所を私立化 2か所

第2期計画

こども園を整備 2か所

保育所を私立化 2か所

幼稚園をこども園化・私立化 2か所

現状

市立こども園 5園、幼稚園 6園、保育所 7所

1. 再編の概要

○第3期計画の概要

◎こども園の整備 **2か所整備**

すべて（7つ）の中学校区に1園ずつの達成

幼稚園のこども園化により待機児童対策を推進

◎幼稚園の再編 **こども園との統合**

園児数の減少に応じて統合時期を検討

◎保育所の再編 **3施設を私立化**

施設の老朽化対策と待機児童対策を推進

2. こども園の整備

これまでのこども園整備

5つの中学校区に整備

中学校区

令和元(2019)年度
大久保こども園

東習志野こども園
平成18(2006)年度

杉の子こども園
平成24(2012)年度

袖ヶ浦こども園
平成26(2014)年度

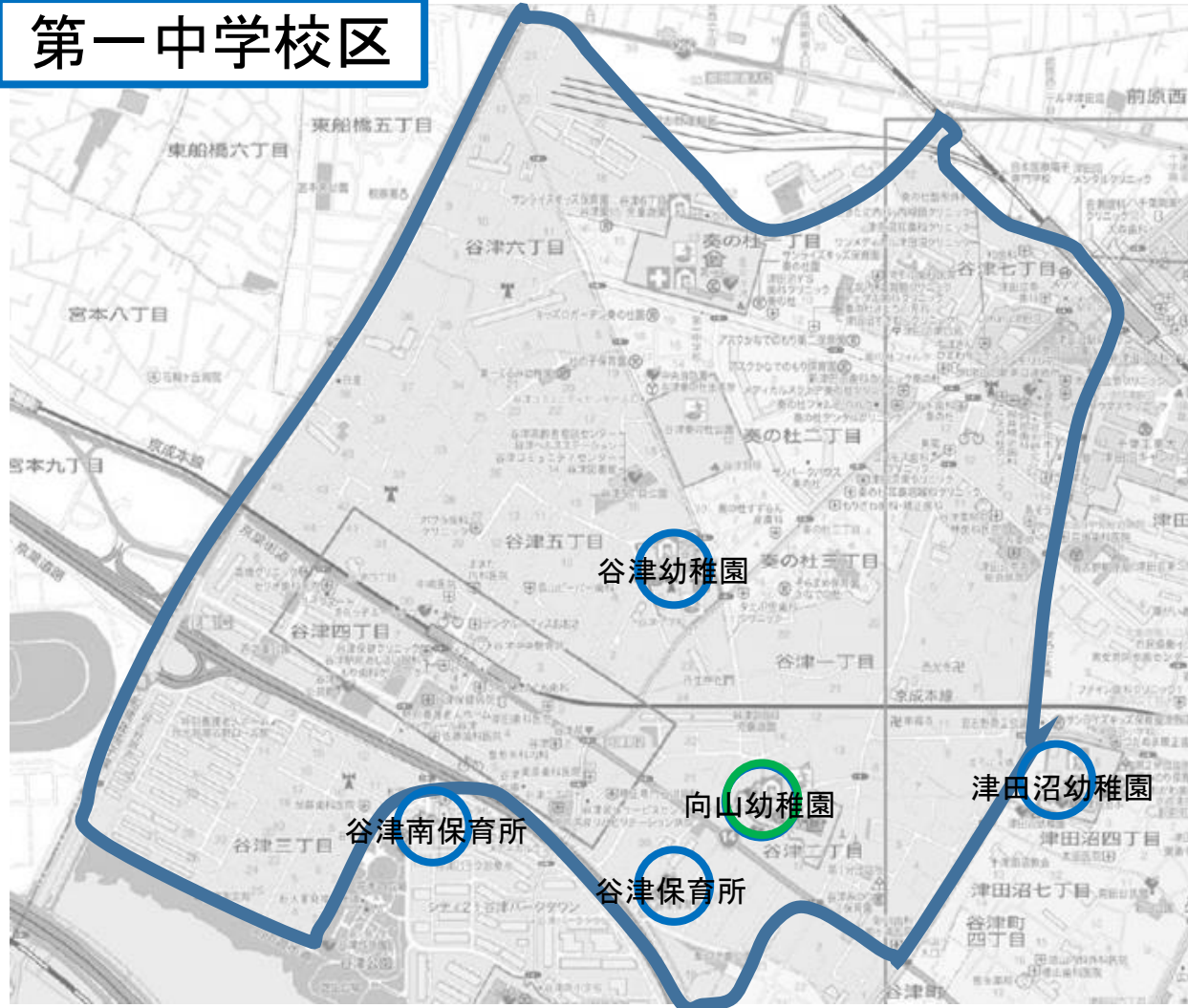
新習志野こども園
令和元(2019)年度

- 市立こども園
- 市立幼稚園
- 市立保育所

第3期計画では、
第一・第五
中学校区に整備

2. こども園の整備

第一中学校区



【課題】

- 幼稚園児数の減少
- 保育需要の増大
- 既存施設の老朽化

【方向性】

既存幼稚園を活用し、
こども園化を図る



向山幼稚園を活用

2. こども園の整備

(仮) 向山こども園の整備

保育需要への対応
3歳児教育への対応

		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
向山幼稚園	教育定員					105人	105人	210人
	園児数					21人	32人	53人
(仮) 向山こども園	教育定員				30人	30人	30人	90人
	保育定員	8人	20人	24人	30人	30人	30人	142人
	計	8人	20人	24人	60人	60人	60人	232人

※園児数は、令和元年5月1日現在

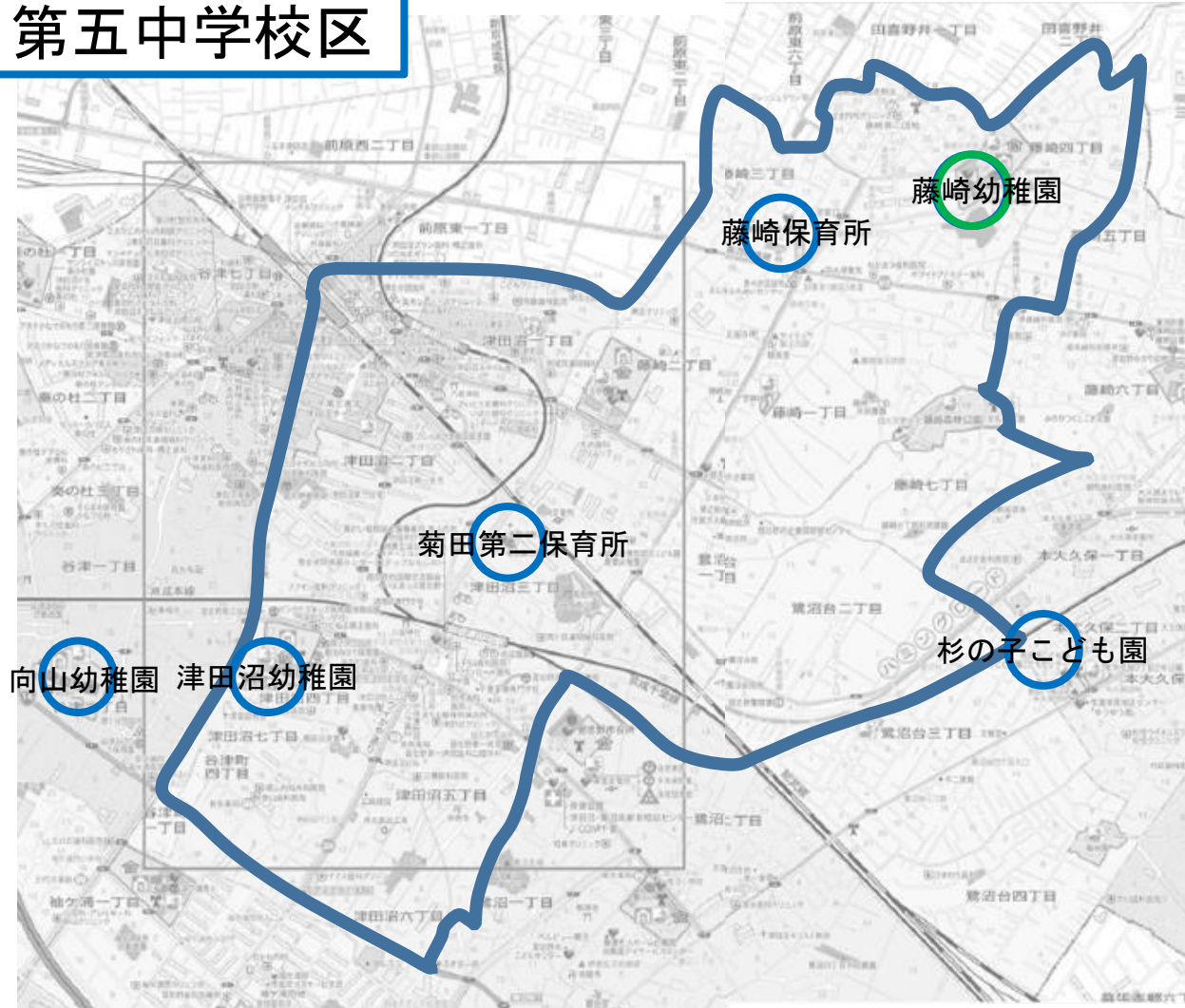
※定員については、整備時に再度検討

こどもセンター・一時保育などの実施

- 【課題】
- ・隣地との高低差（幼稚園入口は階段）
 - ・接道は小学校正門（送迎車両の導線確保）

2. こども園の整備

第五中学校区



【課題】

- 幼稚園児数の減少
- 保育需要の増大
- 既存施設の老朽化

【方向性】

既存幼稚園を活用し、
こども園化を図る



藤崎幼稚園を活用

2. こども園の整備

(仮) 藤崎こども園の整備

保育需要への対応
3歳児教育への対応

		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
藤崎幼稚園	教育定員					70人	70人	140人
	園児数					17人	22人	39人
(仮) 藤崎こども園	教育定員				30人	30人	30人	90人
	保育定員	8人	20人	24人	30人	30人	30人	142人
	計	8人	20人	24人	60人	60人	60人	232人

※園児数は、令和元年5月1日現在

※定員については、整備時に再度検討

こどもセンター・一時保育などの実施

- 【課題】
- ・ 幼稚園は小学校校舎の1階部分
 - ・ 幼稚園の出入口は車両通行不可

3. 幼稚園の再編

幼稚園児数の推移（第2期計画期間前との比較）

	平成25（2013）年			令和元（2019）年		
	4歳児	5歳児	計	4歳児	5歳児	計
谷津幼稚園	58人	69人	127人	40人	56人	96人
津田沼幼稚園	35人	45人	80人	19人	20人	39人
屋敷幼稚園	34人	46人	80人	19人	16人	35人
大久保東幼稚園	21人	47人	68人	16人	18人	34人
計	148人	207人	355人	94人	110人	204人

※各年5月1日現在の園児数

※こども園化後に残る市立幼稚園4園のみの状況

幼稚園児数の減少は継続

4園中3園が1学年1クラス

3. 幼稚園の再編

幼稚園児数の減少により、1学年10人以下の幼稚園



集団教育の観点からの課題

- ・ 子ども同士の育ちあいの機会の減少
- ・ 集団活動に制約、教諭の指導力向上に課題

市が目指す集団教育の実施

将来的に各学年の園児数が
10人以下になることが見込まれた場合

同一中学校区のことども園との統合を検討

4. 保育所の再編

市立保育所の施設一覧（平成31年4月1日現在）

施設名	棟名	構造	延床面積	階数	整備年	経過年数
大久保第二保育所	保育棟	RC造	865m ²	2階	昭和48（1973）年	46年
	遊戯室	S造	160m ²	1階	平成2（1990）年	29年
本大久保第二保育所		RC造	599m ²	1階	昭和51（1976）年	43年
藤崎保育所		RC造	1,244m ²	2階	昭和53（1978）年	41年
菊田第二保育所		RC造	700m ²	1階	昭和55（1980）年	39年
秋津保育所		RC造	1,270m ²	2階	昭和55（1980）年	39年
谷津南保育所		RC造	1,277m ²	2階	平成元（1989）年	30年
谷津保育所		S造	993m ²	1階	平成23（2011）年	8年

※RC造：鉄筋コンクリート造

S造：鉄骨造

老朽化が進み改築等が必要

4. 保育所の再編

保育所の改築等

市立 平成18（2006）年から国県による補助金が廃止

私立 国県による補助金が活用できる

多様な保育ニーズへの対応 一時保育・延長保育など

施設の老朽化対策

老朽化している施設

待機児童対策

定員拡大

保育需要の高い地域

私立化を実施（計画期間中に3施設）

大久保第二保育所

菊田第二保育所

藤崎保育所

5. 計画における効果

保育定員の拡大予定

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
こども園整備							
(仮)向山こども園	+8人	+20人	+24人	+30人	+30人	+30人	+142人
(仮)藤崎こども園	+8人	+20人	+24人	+30人	+30人	+30人	+142人
保育所私立化							
大久保第二保育所	±0人	+4人	+4人	+7人	+3人	+3人	+21人
菊田第二保育所	+1人	+10人	+4人	+30人	+30人	+30人	+105人
藤崎保育所	+3人	+15人	+10人	+5人	+3人	+3人	+39人
計	+20人	+69人	+66人	+102人	+96人	+96人	+449人

※定員については、整備時の乳幼児人口及び保育需要の推計において再度検討

待機児童の解消に寄与

待機児童数89人（平成31年4月1日現在）